



「関西国際空港及び大阪国際空港特定空港運営事業等」の 優先交渉権者の選定について

「関西国際空港及び大阪国際空港特定空港運営事業等」について、当社において厳正に審査を行った結果、優先交渉権者を選定しましたので、以下のとおりお知らせします。

<公募の概要>

(1)事業名称

関西国際空港及び大阪国際空港特定空港運営事業等

(2)事業の対象となる公共施設等の名称及び種類

i. 名称

①関西国際空港

②大阪国際空港

ii. 種類

空港基本施設及び空港航空保安施設、空港機能施設等

(3)公共施設等の管理者等

新関西国際空港株式会社 代表取締役社長 安藤 圭一

(4)事業期間

実施契約に定める開始条件が充足され、本事業が開始された日から、平成 72 年 3 月 31 日まで

<優先交渉権者>

オリックス、ヴァンシ・エアポート コンソーシアム(ORIX・VINCI Airports Consortium)

代表企業 オリックス株式会社

主なコンソーシアム構成員 VINCI Airports S. A. S.

その他の構成員(50音順) (株)アシックス、(株)池田泉州銀行、岩谷産業(株)、大阪瓦斯(株)、(株)大林組、オムロン(株)、関西電力(株)、(株)紀陽銀行、(株)京都銀行、近鉄グループホールディングス(株)、京阪電気鉄道(株)、サントリーホールディングス(株)、(株)ジェイティービー、(株)滋賀銀行、積水ハウス(株)、ダイキン工業(株)、大和ハウス工業(株)、(株)竹中工務店、南海電気鉄道(株)、(株)南都銀行、西日本電信電話(株)、日本生命保険(相)、パナソニック(株)、阪急阪神ホールディングス(株)、(株)みずほ銀行、三井住友信託銀行(株)、(株)三菱東京UFJ銀行、(株)民間資金等活用事業推進機構、(株)りそな銀行、レンゴー(株)

<審査書類の内容(一部)>

○運営権対価等支払額

490億円超及び収益連動負担金(※)

※収益1500億円を超過した金額の3%分を追加支払

(株主に還元可能な資金の一定範囲内)

○履行保証金

1,750億円超





○事業計画のポイント

- ・ 航空系事業については、エアラインをはじめとしたマーケティング機能の強化、インセンティブスキームの見直し等の戦略的料金設定等による、更なる路線誘致やLCC及び貨物エアラインの拠点化促進を図る。
- ・ 非航空系事業については、インバウンド旅客のニーズにマッチした国際的に知名度の高いブランドや関西特有の店舗の誘致、商業エリアの回遊性の向上に資する旅客動線の最適化等のターミナルレイアウト見直しなど商業事業の収益増加を図る。また、安全・安心の強化及び都市型先進空港を実現する現在の大阪国際空港ターミナルビル改修を引き継いだ上で、ビジネス旅客の需要に対応するため迅速かつ効率的な物販・飲食店舗の運営を推進する。
- ・ 旅客満足度向上に向けて、関係者と連携し、搭乗手続きに要する時間の最小化など、オペレーション全体の最適化を図る。
- ・ 安全・安心を最優先し、法令等の遵守など現状の安全水準を確保しつつ、施設の予防保全及び長寿命化を踏まえた更新投資を着実に実施するとともに、空港の事業継続計画を策定し、大規模災害時の広域防災拠点としての役割を果たす。
- ・ 空港のインフラとしての機能と競争力の維持・向上のための更新投資及び戦略的投資の設備投資総額は、約9,448億円(年間平均、約215億円)を見込む。
- ・ 法令等に基づく騒音対策を実施するとともに、現状の新関西空会社が行っている環境対策事業を承継し、着実に実施する。
- ・ これまでの地元及び新関西空会社間の契約や協定等を引き継ぎ、着実に実施するとともに、地域における様々な自治体・企業・住民などと連携し、共生してための良好な関係を構築する。
- ・ 従業員へのトレーニングプログラムを提供するヴァンシ・アカデミー(VINCI Academy)の活用により、空港従業員の質の更なる向上を図る。

【航空需要目標】

	2014年度	2059年度
発着回数(万回)	27.7	39.0
(内、関西空港)	14.2	25.5
(内、大阪空港)	13.5	13.5
旅客数(万人)	3,466	5,751
(内、関西空港)	2,004	4,153
(内、大阪空港)	1,462	1,598
貨物量(万トン)	87.4	194.1
営業収益(億円)	1,497	2,509
EBITDA(億円)	662	1,209

※営業収益及びEBITDAは新関西空会社の実績からコンセッション後も新関西空会社に存続する鉄道事業分を除いたものである。

※EBITDAは、営業利益に償却費相当を加えたものである。

<第二次審査の結果概要>

第二次審査書類として提出された事業計画において、様々な成長戦略が示され、オリックス及びヴァンシ・エアポートの空港運営・商業施設の運営についての豊富な経験により、着実な成長が期待でき、また、44年間の長期に亘って、安全安心を最優先し、重要なインフラである空港を運営する社会的な責任・使命を認識するとともに、機能維持向上のための投資や、イベントリスク対策を講じて安定確実な経営を確保する内容となっている。

このことから、関西の航空需要の拡大に貢献し、我が国の産業、観光等の国際競争力の強化及び関西





における経済の活性化に寄与すると考えられ、同コンソーシアムを優先交渉権者として選定することが適当であると判断した。

<今後のスケジュール>

スケジュール(予定)	内容
・平成 27 年 11 月頃	➤ 基本協定の締結
・平成 27 年 12 月頃	➤ 運営権の設定
	➤ 実施契約の締結
・平成 28 年 3 月末	➤ 事業移管

※当社は、上記スケジュールを変更することがあります。

